



道路建設産業労働組合協議会 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO労働組合内) 電話03 (3563) 6744

URL <http://www.doukenroukyou.com>

### 2020年 年頭挨拶



道建労協加盟単組の組合員ならびにご家族の皆様、明けましておめでとうございます。  
 新春をご家族の皆様と共に明るく迎えのこととお慶び申し上げますとともに、年末年始にかかわらず業務に従事された皆様には心より慰労の意を表します。  
 昨年を振り返りますと、やはり自国開催となったラグビーワールドカップが印象に残ります。鍛え抜かれた男たちが全力でぶつかり合う姿に興奮し、多くの人々がわかファンになりました。結果も皆の予想を見事に裏切り、プール戦全勝でベスト8入りを果たし、ONE TEAMも流行語大賞に選ばれました。しかし、同時期に発生した台風15号、19号による被害は甚大でした。被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、直ぐに現地に向かい災害復旧にご尽力された建設産業の仲間たちに敬意を表します。  
 安倍首相は在籍日数が2,886日を超え歴代1位となりました。様々な問題を指摘されていますが、景気は回復基調が続いています。しかし、世界の動向の影響が大きく、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方、金融資本市場の変動等によるリスクに留意しなければいけません。  
 一方、我々建設産業に目を向けると、東京オリンピック・パラリンピックへの建設投資は峠を越えたものの、首都圏での開発案件の増加やリニア中央新幹線の建設、インフラ建設や維持修繕など、建設需要は底堅く推移すると見られます。  
 このような中、「新・担い手3法」が可決・成立し、建設産業の働き方改革は加速しています。また、改正出入国管理法も施行され、外国人労働者の受け入れも加速すると予想されます。労働環境に目を向けると、4月より建設業以外で労働時間管理は上限時間が設定され、年次有給休暇5日取得が義務となりました。  
 働き方改革の取り組みについて、「現場では限界を感じている」「人材不足で休めない」といった声をよく聞きますが、4年3か月後には建設業も上限時間を上回ることはできません。勇気をもって「早く帰る」、「休む」を実践していくために、私達道建労協は、これからも皆さんの声をしっかりと受け止めながら、十分に議論し各団体、各企業に提言し、道路建設産業を志す若者が希望を持って安心して働ける魅力ある産業を実現するために活動していきますので、引き続きのご支援とご協力をお願い致します。  
 最後にありますが、本年が組合員の皆様とご家族にとって健康で実りある素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

道建労協 議長 赤田 淳

## フリーウェイ

### 【スポーツの力】

2020年がスタートし、今夏には、待ちに待ったオリンピック・パラリンピックが開催されます。どの様な感動が生まれるのか、非常に楽しみです。

昨年度のスポーツ界を振り返りますと、明るい話題が多かったと思います。ラグビーW杯での日本代表の活躍、テニス・大阪なおみが男女初世界ランキング1位、プレミアA2での野球世界一、サニブラウンが陸上男子100m日本新9秒97、渋谷日向子が全英女子優勝など。一方で、吉田沙保里、稀勢の里、イチローの引退など、寂しい出来事もあった年でした。

業界に目を向けますと、人材不足や、依然とした労働環境の厳しさなど、課題は山積しております。我々もスポーツ選手同様、目標に向かって一つ一つ着実に努力を積み重ねていく必要があります。勇気と感動をもらいながら、一緒に頑張ってくださいませ！

NIPPO労働組合

後藤 陽平

企業訪問・関係団体訪問

11月土曜閉所強調月間を迎えるに際し、今年度も10月に各加盟単組企業本店や関係団体に対し、土曜閉所推進運動への協力要請を行いました。また、2019年10月15日～18日にかけて四国、中国、九州地区の各加盟単組企業支店や関係団体についても協力要請を行いました。製造部門における時間外労働の罰則付き上限規制や年次有給休暇5日の取得義務などの働き方改革関連法が施行されてから、半年経過後の訪問となり、各社の経営陣や、各関係団体の担当者から各々の目標達成に向け、強い危機感と意気込みを感じました。また、各社を訪問し、働き方改革の達成や、社員の離職防止、次世代の担い手確保など各社が共通して有する課題に対し、忌憚のない意見交換が行われ、会社の垣根を超えて、道路建設産業全体で取り組むべき課題であるという姿勢が示されました。

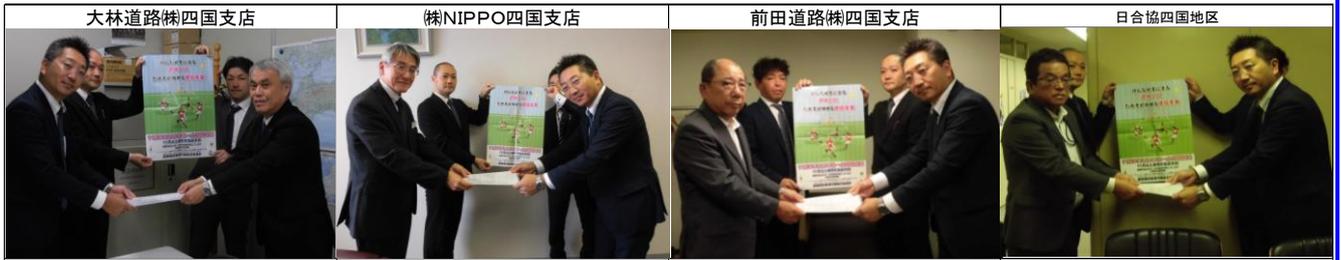
加盟単組全体での閉所率はまだまだ低く、工事部門と製造部門で閉所についての課題や問題は異なり、また地域性も顕著に数字に現れております。社会・業界が変化している中で、私たち一人ひとりも「働き方改革」の実現に対して行動しなければなりません。私たち一人ひとりが、働き方を変える意識と行動がなければ、改革の実現は難しいものになります。道建労協では、実態把握を行い、優れた取り組みを水平展開して土曜閉所が定着できるように、業界団体、関係諸団体や各加盟単組企業とともに連携した取り組みを模索してまいります。

大成ロテック社員組合 山尾 浩二郎

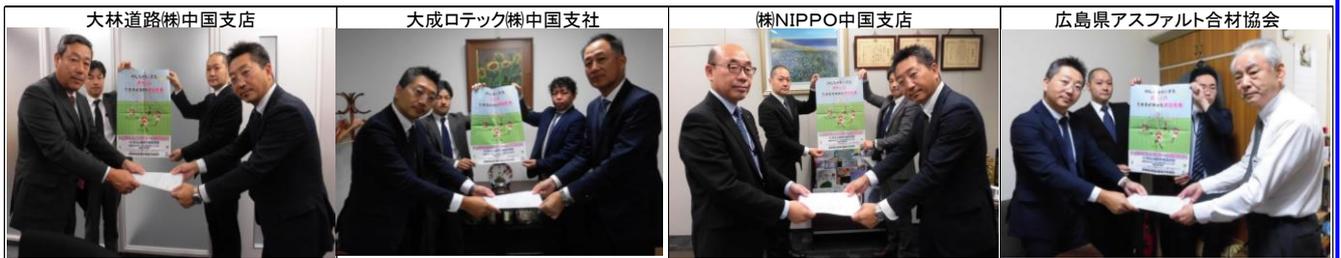
各加盟単組企業及び関係団体訪問(2019年10月1日～7日)



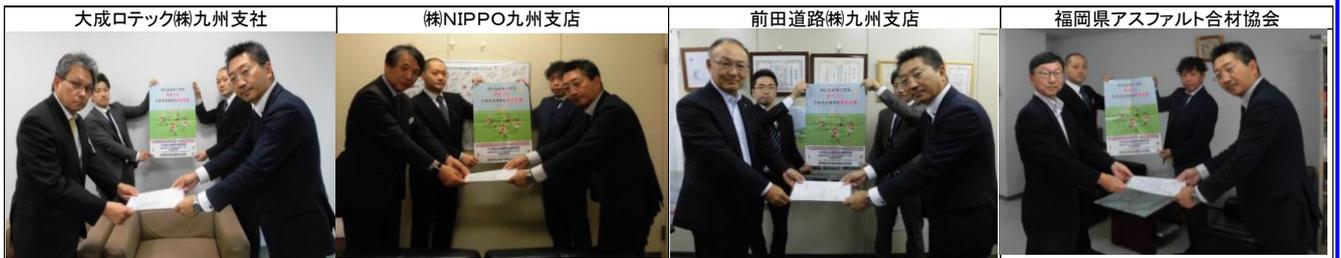
**【四国地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2019年10月15日)**



**【中国地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2019年10月16日～17日)**



**【九州地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2019年10月17日～18日)**



# 地協のなみ地域の交流会

## 四国地区

2019年10月15日(火)高松東急REI ホテルにおいて、各単組と本部から総勢15名にお集まり頂き、道建労協四国地区交流会が開催されました。例年そうなのですが、今年も半数近くは同じ顔ぶれであったこともあり、終始和やかな雰囲気で行われました。内容に関しては、赤田議長や龍王事務局長による、土曜閉所運動の取り組みについてのお話があった後に、各単組での土曜閉所や時短に関する取り組みについての意見交換が行われました。特に時短に関しては人材不足等の問題もあり、どの単組も即効性のある対策がなかなか見出せておらず、苦慮している印象を受けました。ただ、「レクの開催による休みの呼び掛け」や「パソコンシャットダウンシステムの導入」等、各単組で様々な取り組みが実施されており、働き方改革への意識の高まりを実感しました。

その後の懇親会では、さらにざっくばらんな意見交換が行われ、日頃関わりの無い他単組の方々との交流を深めることができ、色々な刺激を頂けた大変有意義な交流会となりました。



NIPPO 労働組合 高城 優太

## 中国地区

2019年10月16日(水)にホテルセンチュリー21広島において中国地区交流会が開催され、各単組と本部合わせて総勢21名の方にご参加いただきました。

初めに赤田議長より11月土曜閉所推進運動の展開について説明があり、次に各単組にて実施されている休日取得や時短に対する取り組みを発表していただきました。発注者によっては週休2日が徹底されている現場があることや支店単位で計画的に休日取得を促進する取り組みをおこなっているといった各職場を取り巻く環境の説明と、現場確認のためにウェアラブルカメラを使用している事例やパソコンのシャットダウンシステムなどIT技術を導入した事例が紹介され、各職場で参考となるような多数の情報が共有されました。会議終了後の懇親会では各単組の方々との意見交換を行うことができ、大変有意義な交流会となりました。



大林道路職員組合 中島 雅浩

## 九州地区

2019年10月17日(木)西鉄ホテルクルーム博多において、「道建労協九州地区交流会」が開催されました。冒頭に、赤田議長、龍王事務局長より、道建労協の活動である11月の土曜閉所推進運動について説明がありました。その中の6月の土曜閉所強調月間アンケートの結果では、九州地区の合材工場の第二土曜日閉所率は、57.7%で全国でもワースト1位であり、ワースト2位の関西地区、四国地区の75.0%から17.3ポイントも差がついていました。その後、加盟単組の参加者から普段から取り組んでいる時短活動や土曜閉所推進運動について意見が述べられ、地域によっては、余裕がなく、時短ができていないという意見も聞けました。2019年4月から働き方改革関連法が施行され、企業には、時間外労働を減少させ、休日も取得させるように法律が改正されております。今回の交流会を通じて、建設業で働く私達ひとりひとりが、働き方改革の波に乗って、労働環境を改善していくことが必要だと感じました。



前田道路労働組合 尾崎 浩司

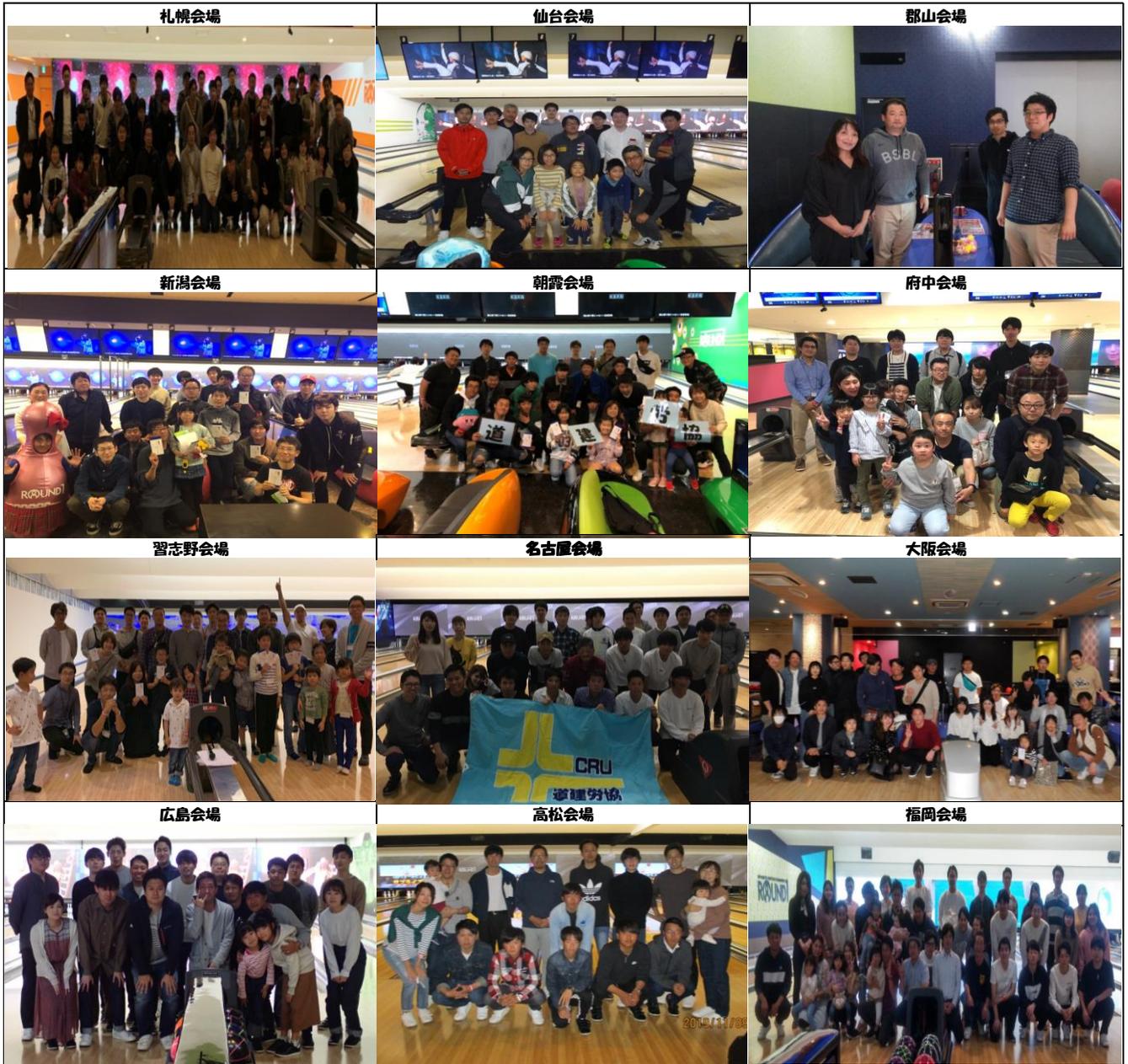
# 全国ボウリング大会

11月土曜閉所強調月間の第2土曜日統一閉所日に合わせ、11月9日(土)に道建労協主催の全国ボウリング大会がおこなわれました。6回目の開催となりました今回は全国12か所で総勢285名の方が参加されました。

参加者全員の順位や各会場の写真は道建労協ホームページに掲載されておりますので是非ご覧ください。

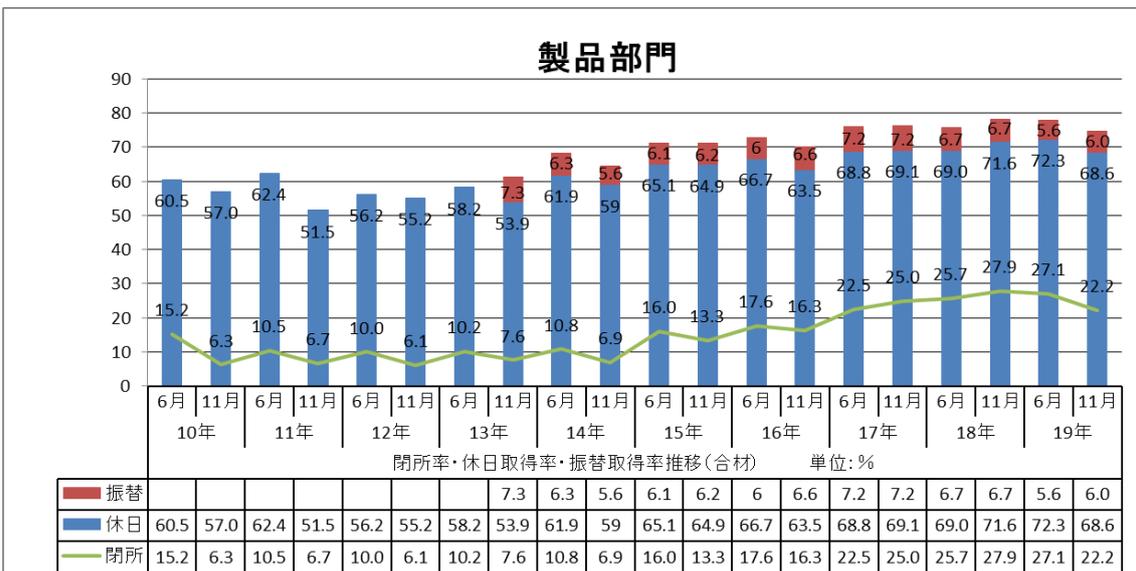
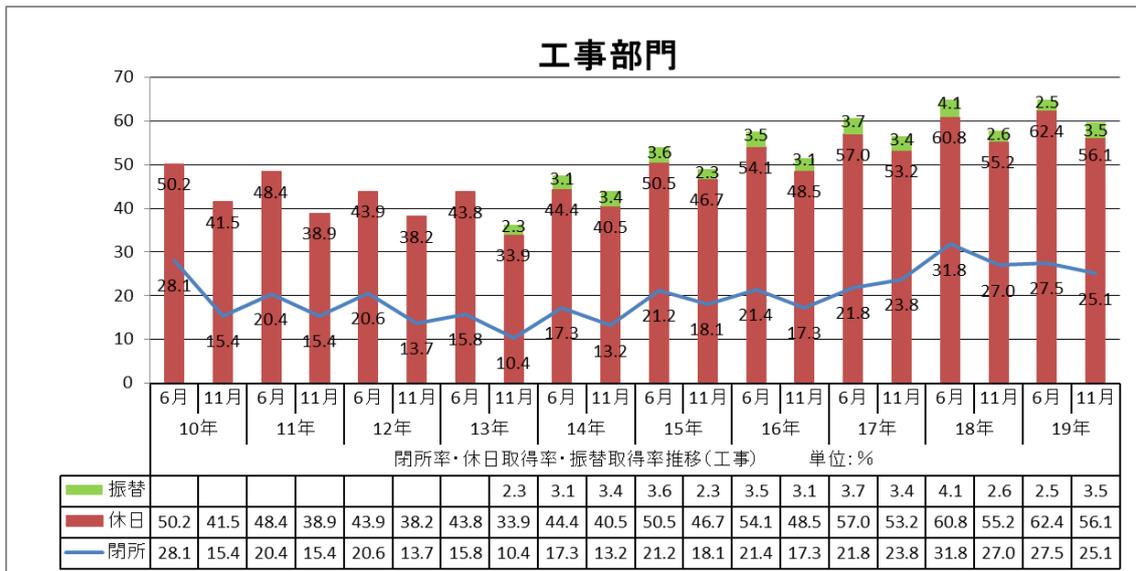
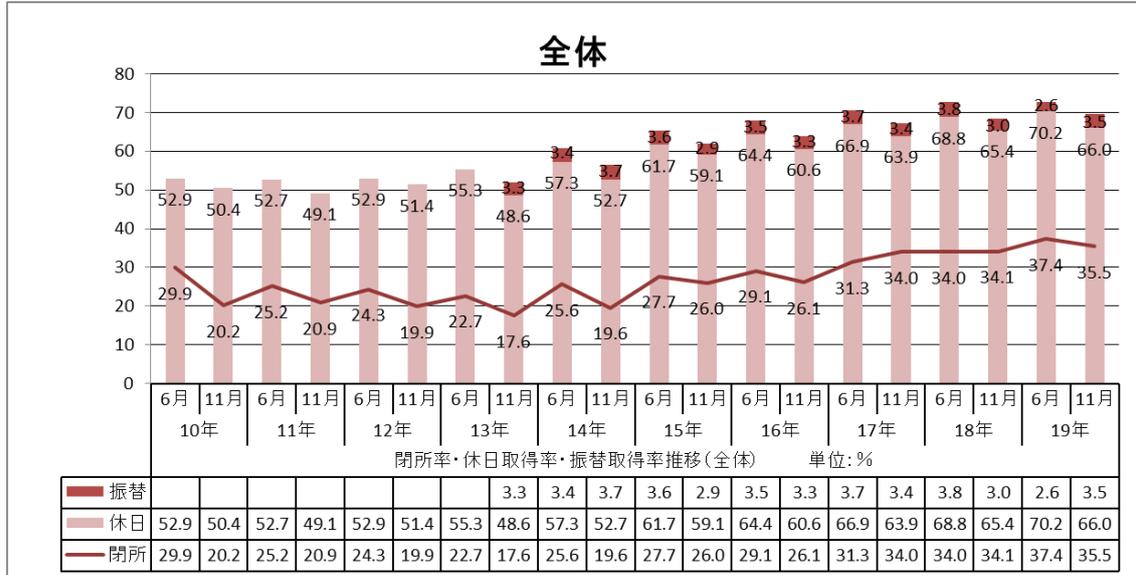
開催にあたりまして地方協議会幹事長、幹事、地域連絡会幹事の皆様には多大なご協力をいただいております。心より御礼申し上げますとともに、引き続き道建労協の活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

大林道路職員組合 中島 雅浩



# 土曜閉所率・休日取得率の推移

※2019年11月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。



## 物知りクイズ

新年あけましておめでとうございます。今冬の平均気温は、平年並み若しくは暖冬になると報道されておりますが、これから、酷寒の時期を迎え、年度末に向けて仕事も最盛期になっていくことと存じます。健康と安全には気をつけて、厳しい年度末の冬を乗り切ってください。

今回の「物知りクイズ」は毎年1月から放送開始されるNHK「大河ドラマ」をテーマに出題します。知っているようで知らない事もある雑学問題です。皆さんはいくつ回答できるでしょうか？

**Q1.** 最初の大河ドラマであった「花の生涯」は誰が主人公であったでしょうか？

- ① 徳川 慶喜 ② 井伊 直弼 ③ 日野 富子 ④ 北条 政子

**Q2.** 「竜馬がゆく」の主演俳優はだれでしょうか？

- ① 北大路 欣也 ② 福山 雅治 ③ 市川 団十郎 ④ 小栗 旬

**Q3.** 「独眼竜正宗」の平均視聴率はどれでしょうか？

- ① 39.8% ② 42.6% ③ 48.5% ④ 41.2%

**Q4.** 令和3年に放映を予定されている大河ドラマはどれでしょうか？

- ① 麒麟がくる ② 鎌倉殿の13人 ③ 軍師官兵衛 ④ 青天を衝け

<応募方法> 下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

●解答 ●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）

●氏名 ●所属単組名

●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。

●締め切り 2月28日（金）

●宛先 〒135-0051 東京都江東区枝川2-13-1 前田道路労働組合内 道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛

Fax: 03-6458-4085 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE98号物知りクイズ当選者

該当者なし

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。長く続いてきましたオリンピック特需が一段落した後の市場の動向は不透明ではありますが、道路建設産業が存続できるよう魅力ある職場づくりを目指していかなければなりません。私たちを取り巻く環境は近年劇的に変化してきましたが、法整備のスピードに労働環境が対応しきれていないのが現状ではないでしょうか。できないと言っているだけでは何も変わらないので、私たち組合員ひとりひとりがどうやったらできるかを考え前向きに取り組んでいくことが必要です。そのうえで組合側ができること、経営者側ができることをそれぞれ明確にし、協力していくことが重要だと考えています。

現状は土曜閉所推進運動を実施していますが、将来的に4週8休が実現できるよう前向きな姿勢で働き方改革に今後も取り組んでいきたいと思います。

大林道路職員組合 中島 雅浩